

## 9月21日（月・祝）東小金井教会マルシェ&コンサート趣意書

コロナ禍で礼拝・集会の縮小や休止を決定した教会が数多くあります。そのなかで、教会で「何か」をすることまですべて危険なことにように、まるで、今は何もしないでいることが良いように、考える風潮を感じ、危惧しています。

避けなくてはいけないのは感染の危険であって、教会が神さまとつながる喜ばしい場であると示し伝えることは、止めるべきではありません。

すべての良きもの、美しいものは神さまからきたもの。美しいものを生み出す力もまた、神さまからいただいた賜物。その力を使って、誰かに何かを届けようとするのは、祈りにも似た作業だと思います。

生み出した作品や音楽が、ほんのすこしでも、毎日生きる支えや喜びにつながりますように。美術家、手芸作家、音楽家は心をこめて手を動かします。

それは、見えない祈りのリレー…神さまからいただいた祝福、恵みを手渡ししているとも、いえるのではないのでしょうか。

手作り作品の販売やコンサートをあえて「教会で」実施したい理由は、そこにあります。

特に今回は、不安と混乱の中から神の祝福を祈る“Blessing”を、コンサートのテーマにしたいと考えています。

このような聖句を思い浮かべています。

民数記 6 : 24-

「主があなたを祝福し、あなたを守られるように。主がみ顔の光であなたを照らし、あなたに恵みをあたえられるように。主がみ顔をあなたに向けて、あなたに平和を賜るように。」

詩編 34

1 : 「私はどのような時も主をたたえよう。私の口には絶え間なく主の賛美がある。」

9 : 「味わい、見よ、主の恵み深さを」

II コリント 9 : 8

「神は、あらゆる恵みをあなたがたに満ち溢れさせることがおできになります。こうして、あなたがたは常にすべてのことに自足して、あらゆる善い業に満ち溢れる者となるのです。」

ペテロの手紙 3 : 9

「あなたがたは祝福を受け継ぐために召されたからです。」

朗読や関先生のお話なども挟みながら（あるいは言葉を映写しながら）、音楽をお届けできたらと思います。